

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

# ハロー フレンズ



2013年6月号(隔月刊) 第126号

## 富士みの国際交流センター第15回通常総会開催 ぜひ、ご参加をお願いいたします

2013年6月23日(日)午前10時から  
場所: 富士み野市うれし野まちづくり会館3F

富士みの国際交流センターの平成24年度事業報告と25年度事業計画を審議する通常総会を開催します。議決への参加は正会員に限られますが、傍聴はどなたでも可能です。

総会終了後、スタッフ、会員の皆さまとの交流会を開催します。ぜひご参加ください。



昨年の総会の模様

## 富士みの国際交流センターのマーク、ロゴを決めました

長らく、センターのマーク、ロゴとして正式に決まったものではありませんでしたが、このたび理事会やスタッフ会議で検討して、ロゴなどを決めさせていただきました。マークは、「国籍の異なる人々がともに喜びを表わす」意味を込めた図柄とし、団体の愛称も「ファイセック」に統一することになりました。よろしくお願いいたします。



## 6月は「外国人労働者問題啓発月間」

### 日本では約68万人の外国人が働いています

厚生労働省では、毎年6月を「外国人労働者問題啓発月間」としています。この外国人労働者の現状について、厚生労働省の「外国人雇用状況の届出状況（平成24年10月末現在）」から考えていきたいと思ひます。

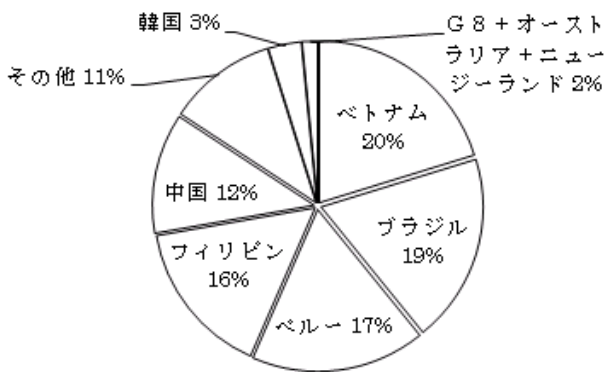
現在の我が国の外国人労働者数は682,450人（\*1）となっています。これは前年同期に比べ3,796人（0.6%）減少した数です。その要因は、現在の雇用失業情勢が依然として厳しく、平成24年7月以降、製造業の事業所を離職した外国人が増加したためです。産業別に見てみると、製造業に従事する外国人労働者は全体の約4割にあたる260,988人ともっとも多く、製造業の離職は全体の離職に大きく関わることがわかります。

この製造業に従事する外国人労働者を国籍別の割合で見ると、ベトナム、ブラジル、ペルー、フィリピンと続きます。他の外国人労働者が従事している業種と比べてみても、IT産業など

専門分野には韓国人は多く関わり、教育産業にはG8等（\*2）の国籍者が多く関わるなど、業種において求められる技能が就労に大きく関わっていることがうかがえます。

つまり「身分に基づく在留資格（\*3）」があれば就労制限がないものの、求められる技能によって、労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労し、不安定な雇用形態で就労している外国人労働者が多いと考えられます。不安定な雇用形態状況の問題は、賃金や解雇・退職に関することだけにとどまりません。所帯がある場合は生活費用に関すること、子女の教育に関すること、健康・医療に関することなど、一つの問題だけではない様々な問題が複雑に絡み合うこととなります。

私たちFICECでは、今後もこうした状況下にある外国人の生活支援、日本語教育支援など継続的な支援を行っていきます。

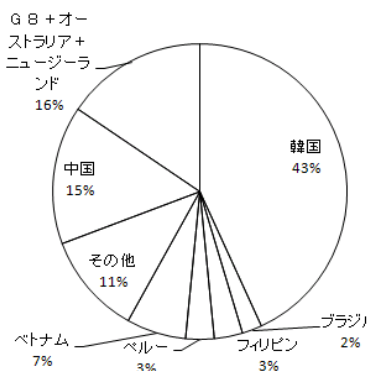


製造業従事外国人の国籍別割合

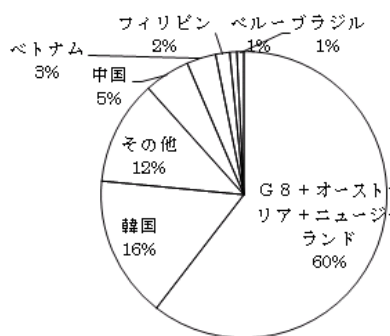
\*1. 特別永住者、在留資格「外交」・「公用」の者を除きます。

\*2. G8等はイギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ、ロシア、オーストラリア、ニュージーランドを表します。

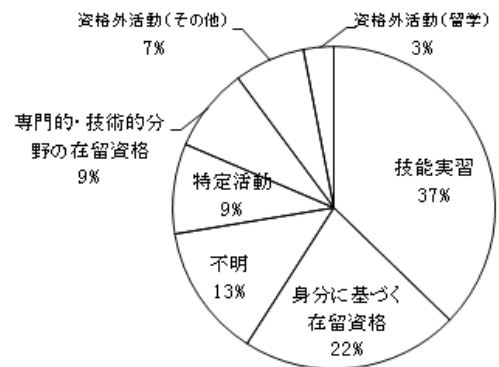
\*3. 身分又は地位に基づく在留資格は、「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」の4種類があり、活動に制限がないというのが特長です。



情報業従事外国人の国籍別割合



教育業従事外国人の国籍別割合



在留資格別外国人労働者の割合

## 社会福祉法人 崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアース 「本気でやる気があれば問題ありません」

「社会福祉法人 崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアース」(理事長 野溝守)はふじみ野市にあり、自然の木や花々、芸術性の高い絵画、彫刻に囲まれた施設で、「個人が尊厳を持ってその人らしい自立した生活が送れるよう支える」という社会福祉の理念に基づいて運営されている特別養護老人ホーム。平成25年5月現在、外国人は4名が勤務しています。

副施設長の宮川清子さんにお話を伺いました。

### ■言葉の壁を乗り越えるのが一番大変です。■

外国人と日本人の違いを感じる場面は、言葉の問題にぶつかった時です。通常、日本人を採用すると約2カ月で夜勤に入ってもらいますが、外国人の場合は約1カ月遅れます。夜は1人の人がフロアを任されるので、夜勤の人はその夜にあったことを正確に記録し、次の日に日勤の人たちに伝える必要があります。この夜勤日誌を書くことにとっても時間がかかってしまう為、夜勤に入るのが遅れるのです。

現在勤務している方は、最初は英語で書いたものを、次の日に日本人職員に伝えていました。そして、そのやり取りの中で日本語の勉強もしていました。完全に日本語で書くことができるようになるまで約1年かかりましたが、どうしても伝えなければならないという気持ちから、前向きで勉強をしていました。

また、介護用語を覚えるのが大変だったと思います。普段使わない言葉で、しかも大変難しい言葉が多いのです。しかし職員同士は専門用語で話すので、知らないわけにはいきません。そこで、「丸ごと覚える」ように伝えていきます。利用者さんの名前の漢字も難しいですが、すべて最初から漢字を使って書いているのは、「丸ごと覚える」が身につけているからだと思います。

### ■「相手の立場になって仕事をする」というのは、福祉の現場の基本です。■

この基本の考え方は、利用者さんに対しても職員同士でも同じです。外国人職員が言葉で困っていたら、職員同士で助け合います。

また、新人職員にはチューターがつきます。このチューターは2～3年先輩の職員がやることが多く、1年間新人職員について仕事を一緒にやりながらサポートをします。このチューターを、現在がんばっている外国人の方が出来るようになるといいですね。今

後、外国人を受け入れる事になった時に、外国人チューターがいれば、外国人の苦勞が分かるということと、人に教えるには仕事を意識しなければならないので、自分自身の仕事の質の向上にもつながります。

マザーアースは雰囲気がいいと言われることがとても多いのですが、職員が相手の立場になって仕事をしているので、良い空気を醸し出しているからだと思います。そして、それは家族にも伝わっているようで、家族がみんな、ここで働くお母さんたちが大好きで大切にしているのがよくわかります。

マザーアースは、埼玉県内の施設で介護職員の離職率が低いと言われているのは、そういうことが関係あるのかもしれない。

インタビューの最後に「認知症の方は、一番幸せだった時代に戻ろうとするのですよ。そして、それは子ども時代の事がとても多いのです。親に愛されて兄弟姉妹と一緒に過ごした時代は、人にとってとても大切な時代で、戻りたくなるのでしょうか。そう考えると、子育てがとても大切に思えてきます。今、子育てをしているお父さん、お母さんにそれを伝えて欲しいですね。」とおっしゃっていました。

約1時間に及ぶインタビューは、終始和やかな雰囲気で行われ、マザーアースの醸し出す「あたたかな空気」を実感することができました。





### 年の差婚 相続でトラブルになることも

藤林 美穂

私が最初外国人の相談を受け始めた頃にびっくりしたのは、日本人夫と外国人妻の年齢差でした。20、30年齢の違うカップルは珍しくありません。

中高年に達した日本人男性が若くてかわいい女性と結婚したい、という気持と、外国人女性の側の、結婚して安定したビザが手に入れば、日本で働き続けることができる、という双方の下心のマッチングで結婚が成立することもあれば、本当にラブラブのカップルもあり、さらには日本人男性が結婚紹介所を使ってよりどりみどりで相手女性を選ぶ、という問題なケースもあります。じつは私は最初日本人と外国人との「年の差婚」全般に眉をひそめていたのですが、実際には非常にうまくいっているカップルもいるので、何であれ十把ひとくくりにははいけない、と自戒しています。ただし「よりどりみどり」は人身売買と紙一重であり、絶対やめてほしい、と思いますが…。

さて、年の差婚は結婚した当初はいいとして、日本人の夫が年取っていくにつれて、いろいろな問題が出てきます。それは、日本人同士の夫婦でも起きるかも知れませんが、日本社会の仕組み(=法律や行政のルール)をつぶさに知ることが難しい外国人妻の場合には、より顕著に表れてくる傾向があります。たとえば、夫が本当に老齢になったときの介護。妻である外国人女性が、一人で介護を背負う、ということになりがちです。年老いた夫を外国人妻が一人で長いこと介護していたが最後になって親族が出てきて、夫の死後の相続の話に

なり、相続財産を外国人妻に渡さないために無理矢理離婚させられた、という話を聞いたことがあります。

以前に私が相談を受けた女性は、20歳年上の男性と結婚して子をもうけ、夫からはとても大切にされていたといいます。しかしその夫が病気で亡くなった後、小姑や親族から猛烈ないじめを受けて孤立していました。本来であれば、夫の死後に配偶者としての財産の相続があるはずですが、彼女は相続の話し合いからも排除されていたのです。弁護士さんを紹介しようとしたのですが、結局彼女からキャンセルの電話が入りました。どうして、と聞くと、彼女の子どもは親族と仲良くしていて、お母さんの苦悩は理解してもらえず、子どもとの関係を大切にしたいから、親族を訴えたりできない、ということでした。

昔の嫁いびりの話みたいですが、法律がからんでくる人生の節目で、不利になりがちなの外国人の立場が浮かび上がってきます。



#### ●筆者紹介

行政書士(ライフ行政書士事務所)。NGOで働いたり、フィリピン人支援団体でボランティアしたりした後、行政書士開業。毎日いろいろな国から来たいろいろな人の話を聞いて、「在日外国人」の多様性に、びっくりすることの連続です。

## 地域は自転車に乗って

佐藤義治

優しい笑顔が素敵な佐藤さんは、月曜と水曜の担当スタッフです。女性スタッフが多いFICECにおいて、頼りになる男性スタッフとして活躍中です。太田政男著「人を結う」には『大井町という地域を愛し、世のため人のために自転車で走り回っている。大井町の宮沢賢治と呼ぶ人もいるくらいである』と紹介されています。

大東文化大学の、今は学長をされている太田政男先生が東上沿線の「社会教育を読む会」を主宰している時、ニュースに標題の僕に関する一文を書かれたことがある。「載せてもらった」と渡されたが、会員向けのごく狭い範囲と思っていたら、「人を結う」という単行本の中に取り入れられ一躍全国区になってしまった。「あのヨシハルさん、って佐藤さんのこと？」と和歌山の人から尋ねられたこともある。

川越に転居してからもっぱら車での移動が多

くなったが、大井にしても上福岡にしても、この地域は自転車で回るのが気持ちいい。車は環境によくないし、体にもよくない。田舎への帰り道には必ずと言ってよいほどタヌキが交通事故で巻き込まれているが、いつも申し訳ないと思っている。

だから先日、ふじみの国際交流センター近くで駐車違反でつかまった時も、罪滅ぼしと思っただけだった。

## 見送りの三振より 空振りの三振

## パート II

石井 ナナエ

自転車でふじみ野駅に行き、北朝霞、南越谷と乗り換えて、せんげん台にある埼玉県立大学に向かった。5年以上前からふじみの国際交流センターの生活相談研修会に無料で講師に来てくださっている保科先生が准教授になられた昨年、ご恩返しに年に1度センターの活動について話に行くようになった。

電車に乗るときは、駅の売店で森永ハイソフトを買い、周りの人に気づかれないように口に放り込み、ゆっくり溶けるのを味わうのが、お決まりの楽しみになっている。移りゆく車窓の景色や、ひらひらの短いスカートから惜しげもなく伸びている、女の子たちの形の良い足を眺めながら、何を話したら学生さんたちに外国人支援の必要性をわかしてもらえるかしらと考えていた。

昨日のこと、シェルターを退所した中国人女性が訪ねてきた。

シェルター入居中、持病のある彼女のために車で何度も病院に連れて行った。日本語の話せない3歳男児のお守りをして、もう一人のスタッフが彼女にひらがなやカタカナを教えた。生活保護を申請し、それが確定したあとはアパートを探し、

引っ越しを手伝った。その後、仕事を探し、子どもを保育園に入れる手続きをして、やっとほっとしたところである。

ミニスカートを履き、きれいに化粧した彼女は、入居中とは打って変わって明るくなり、「離婚が決まった。子どもは主人にあげる。中国の主人の母に育ててもらおう」と言う。「ジェジェ。まだ3歳だよ。日本国籍の子を中国で育てるの」あきれて声も出ない。

飲み屋で知り合って、生活費は入れない、夜は前婦の家に泊まりに行くと言った男性と結婚した彼女。生まれた子どもは日本国籍にし、定住ビザを手に入れた途端に離婚する。何で自分のことしか考えないの。何で自分だけ日本に執着するの。DV被害を受けていた彼女の心の傷を癒し、安心して母子で生活できるように東奔西走した日々。あれはいったい何だったのだろうか。私たちは何のためにサポートしたのか。

学生に何を話そうか考えているのではなく、外国人支援にがっかりしている自分を説得させるために、思いを巡らしていることに気が付いた。

## 蔵書自慢のFICEC日本語教室

### 外国籍の方の日本語能力の向上にご協力ください

「侍は、なぜ刀を二本持っているのですか」「濡れ衣って、濡れた着物のことですか」

「鯨の体温って何度か知っていますか」そんなこと知るわけないっしょ！ 絶叫したくなります。こんなのって日本語教室にありなの??

有るんです。FICECの日本語教室は、大井町の小さな公民館に誕生してから30年。生活言語としての日本語を、外国籍等市民に市民生活レベルで伝えていこうと、毎週木曜日10時～12時開校していますが、単純にカリキュラムに沿った勉強のみならず、前述のような驚がくの質問も浴びせられることもまま有るので。だからおもしろい！

そんなとき、自慢できるのはFICEC日本語教室が所蔵する蔵書、そしてその数です。「待ってください。『語源』で調べてみます」即座とまではいかないけれど、大概是時間内に答えを出すことができますのです。昨年は10万円分もの書籍を寄付して下さった団体もありました。大学との共同開発で日本語学習指導のアプリ開発も続行中です。

不足しているのは、ボランティアで日本語を教えてくださいの方々です。一度FICECの日本語教室に足をお運びいただき体験し、お仲間になってくださいませんか。(文責:岩田仁)



## 日本語教室参加者からのメッセージ

日本語ボランティアスタッフの北野です。仕事をリタイアしたのをきっかけに、昨年8月よりふじみの国際交流センター(ここ)にボランティアとして来ています。

ここに来て知ったことは、自分が住んでいるこの地域に、こんなにも様々な国の人々が住まわれているんだという驚きでした。

私は、時を同じくして、日本語教師養成学校に通いだし、良い先生を目指しています。

今はまだ教え方は未熟だと思いますが、学習者が楽しく生活できることが第一と考えて、色々な人と共に歩いていこうと思っています。

学習者の易佳瑩です。

ことしの3月、上海から日本に来て、富士見市役所の紹介で、ふじみの国際交流センターを知りました。日本語の勉強のために、ふじみ野の教室へ行きました。

先生はとてもやさしく、親切に教えてくれてうれしいです。ことしの12月に日本語の能力試験を受けたいです。日本語の勉強だけじゃなく、いろいろ生活の問題の悩みも聞いてくれるので、助かります。

日本語をもっと勉強して、上手になりたいです。日本の生活習慣を知らないと時々困ることがあるので、早く覚えたいです。



## 日本工業大学との協働で日本語教育ソフトを開発 外国人向け生活ガイドや スマホ利用の漢字学習アプリなども

今年で5年目を迎えた、日本工業大学との日本語学習ソフト開発でのコラボレーション。

今年度は、昨年度作成した日本語学習ソフトの改良と完成を目指します。

また、WEB上で見られる外国人向けの生活ガイドや、スマートフォンを使った漢字学習ツールなどの開発も予定しています。



## ふじみの国際交流センターの「facebookページ」を開設 アドレス : <https://www.facebook.com/ficecjp>

「facebook」をご存知でしょうか。世界中で10億人以上の利用者がいるというネットワークです。基本的にはブログと同じようなインターネットの情報サイトですが、ここでは個人や団体が活動や近況などを書き込んで、盛んに情報交換が行われています。

ここに、ふじみの国際交流センターも情報ページを開設しました。センターでは、日本語教室や国際子どもクラブ、パソコン教室、生活相談など、活発な活動が行われていますが、facebookのページには、センターで行われている活動が写真入りで盛んに紹介されています。

ぜひ皆さんも、センターの情報にアクセスしていただいたり、活動の感想などを書き込んでください。



## アンケート返信のお願い

これまで、ふじみの国際交流センターの会員として、活動を支えていただいていることに心から感謝しています。皆様の率直なご意見、ご感想を今後の活動に反映し、より理解していただき、多くの人の力を借りながら継続出来るNPOにするために、開設以来初めて会員を対象としたアンケート調査をしています。

ご回答がまだの方は、先月号に同封しましたアンケートについて、下記のFAXか、インターネットでご回答いただけたら幸いです。よろしくお願いたします。

インターネットでの回答 : <http://p.tl/-p-7>  
FAX 049-256-4291

## センターの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

### ●活動を担う会員……正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

### ●センターを財政的に支える会員……賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511  
口座名：ふじみの国際交流センター

## 外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

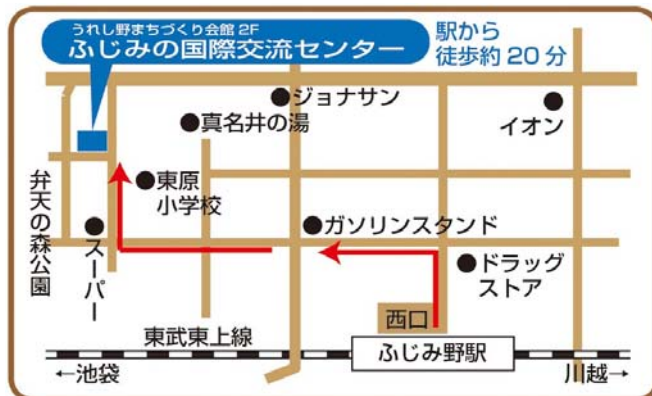
電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
センターをご紹介ください。

## ご寄付をいただいた方々 ご支援ありがとうございます

### ●2012年4月～(50音順・敬称略)

イオン(株)大井店、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院、東入間地区遊技業防犯協力会、阿澄康子、穴沢エミリン、新井順子、新井良司、荒田光男、石井ナナエ、岩田仁、上島直美、上原美樹、太田原裕、大西文行、小熊千寿子、小原知子、葛西敦子、加藤久美子、神田順子、木場ひろみ、駒形一夫、佐藤 義治、白砂正明、菅山修二、鈴木譲二、関ニーランティ、多ヶ谷實、武田和子、立麻肇子、田中つや子、寺村璧如、戸塚成子、内藤忍、中嶋恵津子、中村禎作、中山明子、沼田伊玖俊、野沢弘子、萩原千代子、長谷川雅恵、長谷川正江、浜本由里子、藤巻則幸、彦由章、松浦康介、森和也、山崎友理、山畑博子、匿名希望3名



## サービス料金表

ふじみの国際交流センターでは、センターの設備や、会員・スタッフの技能により、様々なサービスを行っております。ぜひ、ご利用ください。

種別	料金	対象
印刷機	マスター(製版代) 1枚100円 印刷代1枚1円	市民団体 個人
コピー機	1枚10円	
製本機	A4判1冊50円	
折り機	無料	

種別	内容	料金
講師派遣	国際理解教育	3,000円+交通費
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
	語学教室	内容・予算に応じて相談
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	
編集・出版 ホームページ	多言語による情報誌・ガイドブック、ホームページの制作	1枚5,000円
	日本語によるチラシデザイン(A4判)	
翻訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タガログ語、スペイン語、タイ語、ベトナム語	婚姻関係、ビザ申請、履歴書 A4判1頁、40字・30行 1枚1,500円
	その他の文書	A4判1頁、40字・20行 1枚3,000円より
通訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タガログ語、スペイン語、タイ語、ベトナム語	半日5,000円より+交通費

## 特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10

うれし野まちづくり会館2階

Tel:049-256-4290 Fax:049-256-4291

## ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。